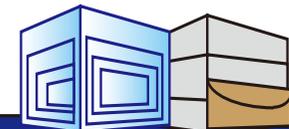


三原市防災市ネットワーク講演会
2025年2月11日

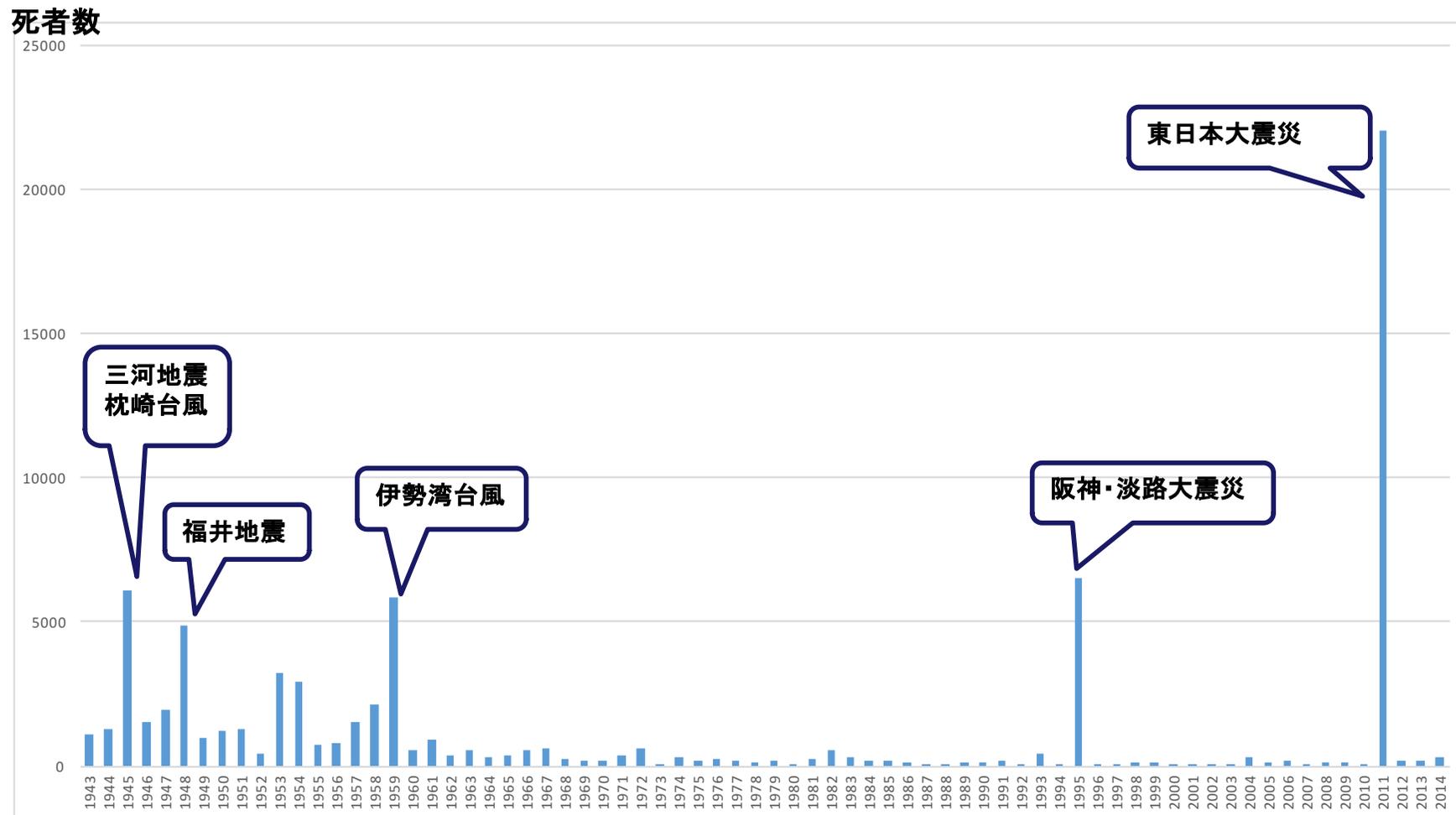
南海トラフ地震に備えよう

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科

阪本真由美



大地震：被害が桁違いに大きい



阪神・淡路大震災の「失敗」



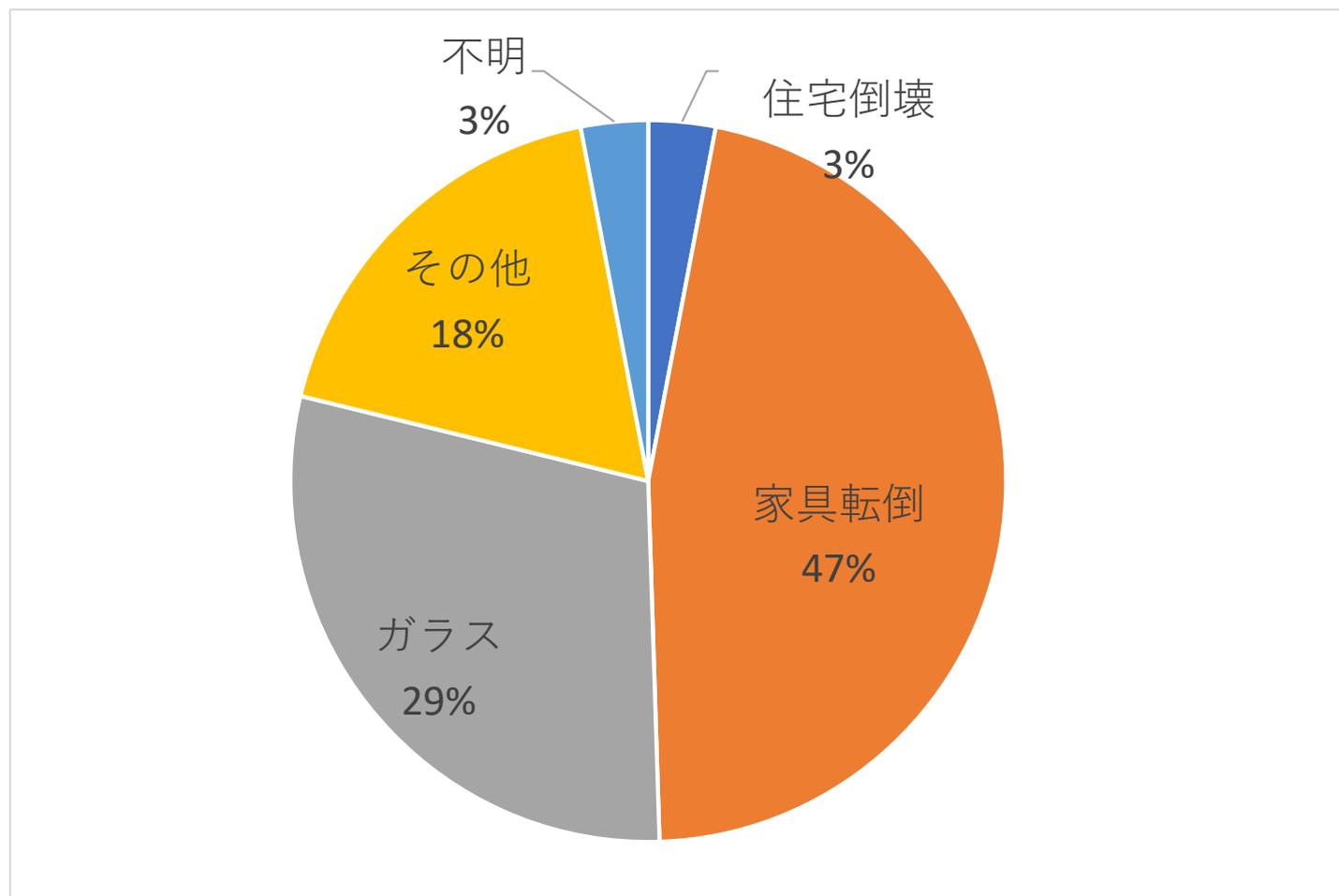
1. 「大地震は起きない」という思い込み
2. 「地方分権型」災害対応の限界
3. 「支援」を活用するマネジメントの不在

避難行動のポイント

- 地震発生時はその場で身を守る。シェイクアウト。
- 周囲が安全ならばその場で安全確保。無理に移動しない。
- 避難が必要な場合は、落ち着いて避難する。
- 避難場所とその経路を確認する。
- 障害がある人へは周囲からの支援が必要。

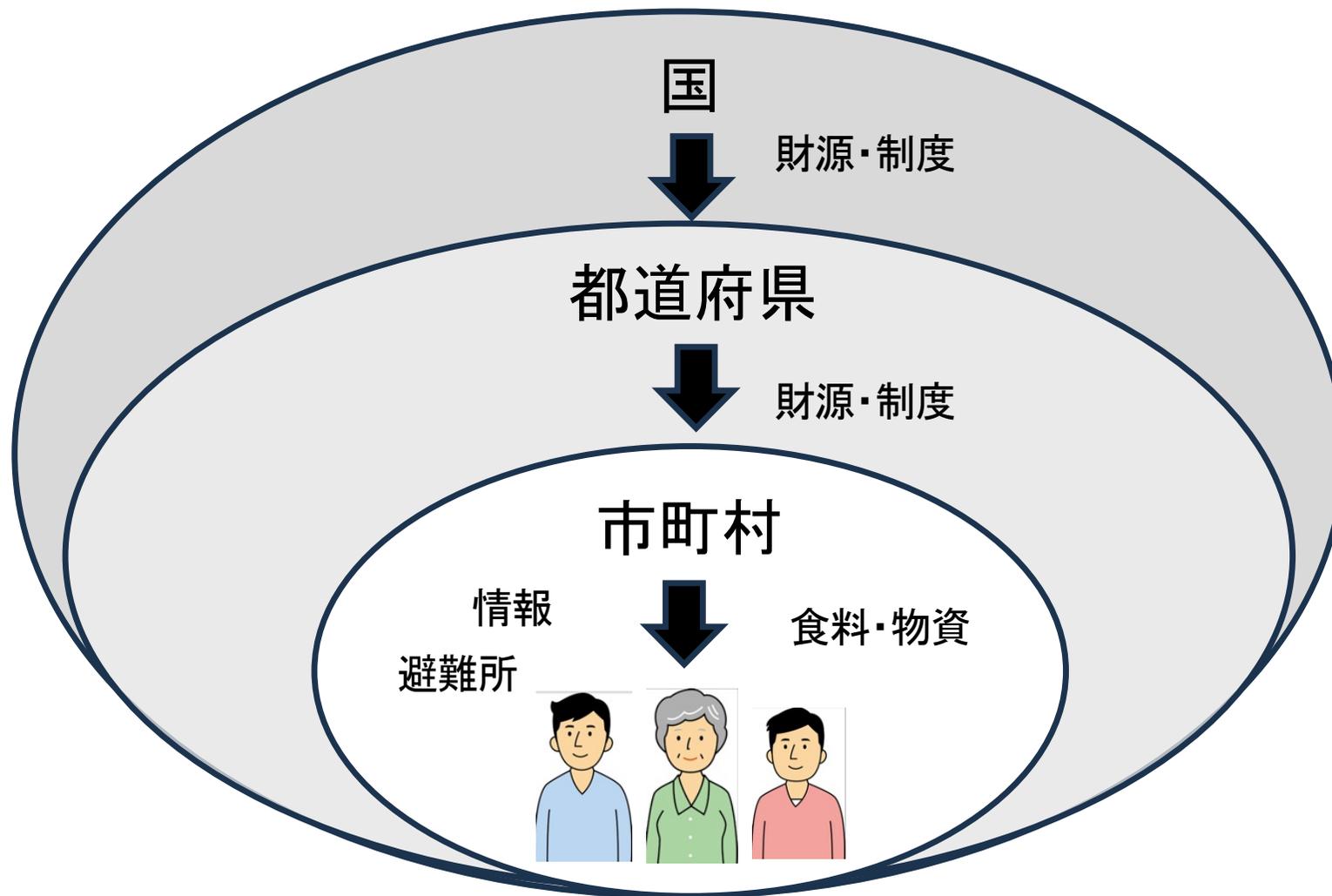


阪神・淡路大震災 怪我の原因



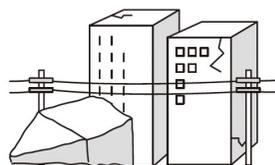
家具転倒・ガラスによる負傷が圧倒的に多い

「地方分権型」災害対応の課題



災害の規模に応じた災害対応体制

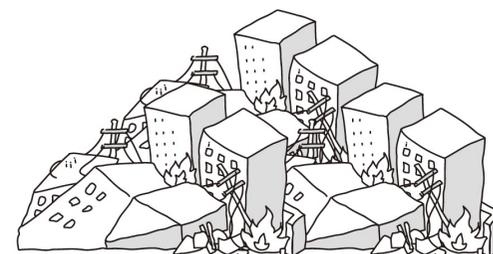
区分	対象となる	設置権者	本部長	現地対策本部	関連条項	備考
緊急災害対策本部	著しく異常かつ激甚な災害	内閣総理大臣 (閣議決定)	内閣総理大臣	緊急災害現地対策本部	第28条の2～6	* 1995年12月8日の法改正により施行。 東日本大震災（2011）
非常災害対策本部	非常災害	内閣総理大臣	国務大臣	非常災害現地対策本部	第24条～28条	阪神・淡路大震災（1995）、新潟中越地震（2004）、広島豪雨災害（2014）、熊本地震（2016）
災害対策本部	災害全般	都道府県知事・市町村長	都道府県知事・市町村長	現地災害対策本部	第23条	



特定災害



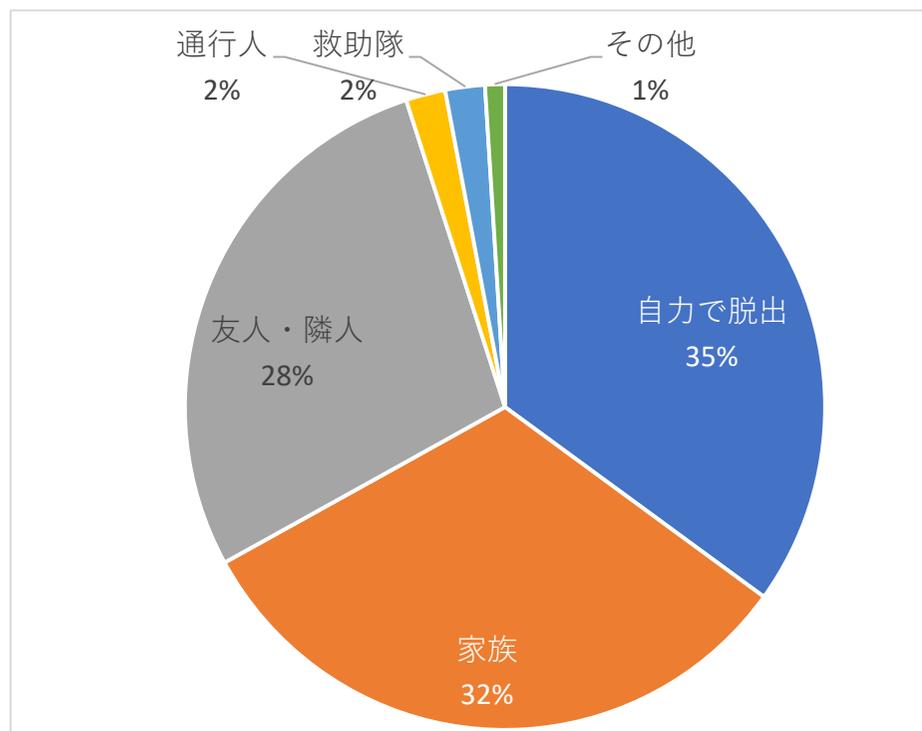
非常災害



緊急災害

地域のが命を救った

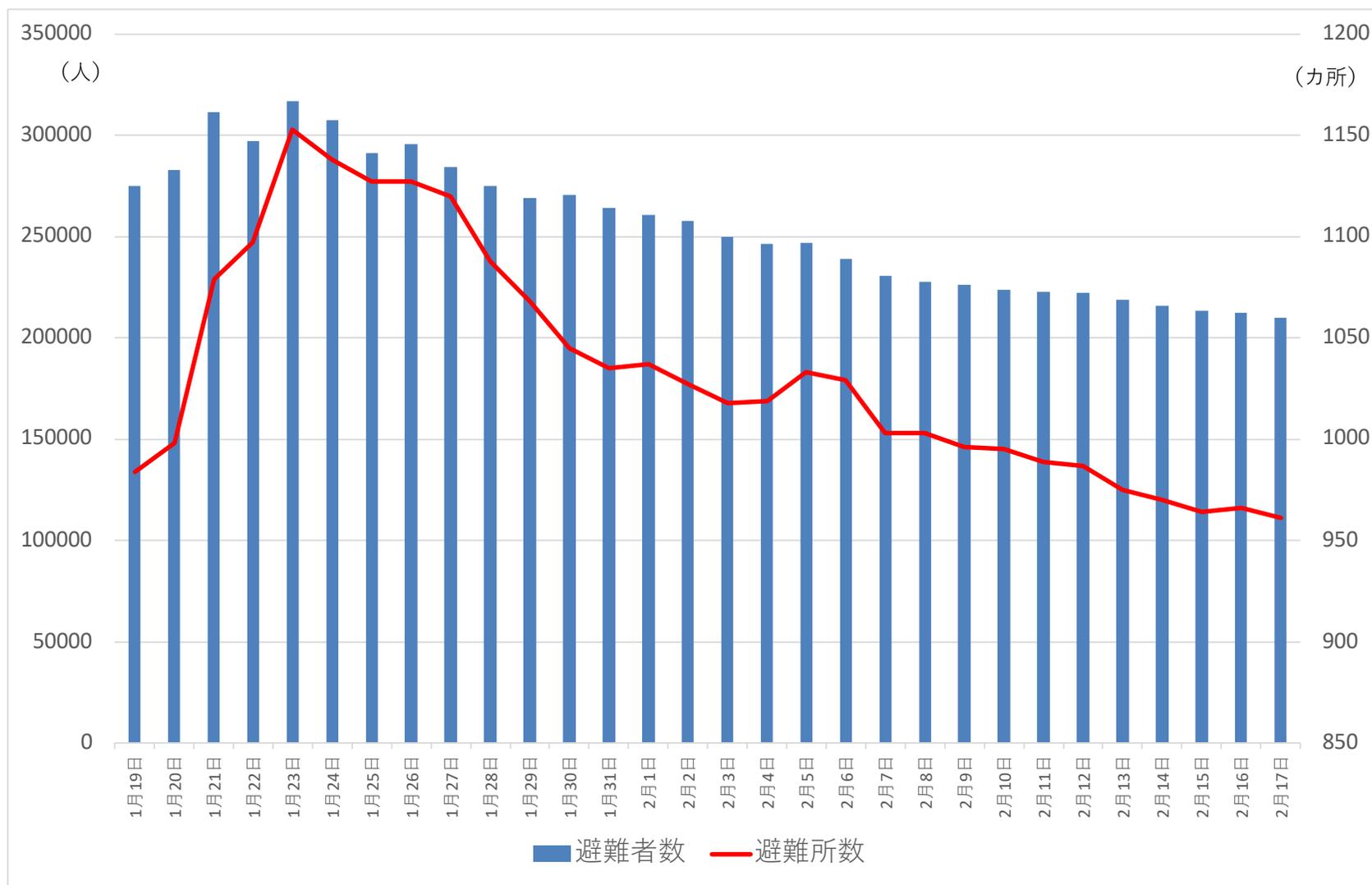
倒壊家屋からの救助状況



- 地震とともに51件の火災が発生。地震当日に100件に拡大。
 - 市内は断水。消火できず。川・貯水槽の水を利用。
 - 消防は消火を優先。全国から消防の支援があったものの、連携はうまくいかず。
 - 救出者数
 - 消防 604人
 - 消防団862人
- (*うち生存者755人)

(日本火災学会「1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」1996年より)

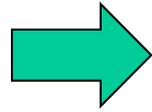
避難所をめぐる課題



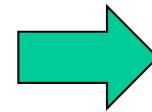
(出所)兵庫県データより作成

「復興」には時間がかかる

避難生活



仮設住宅



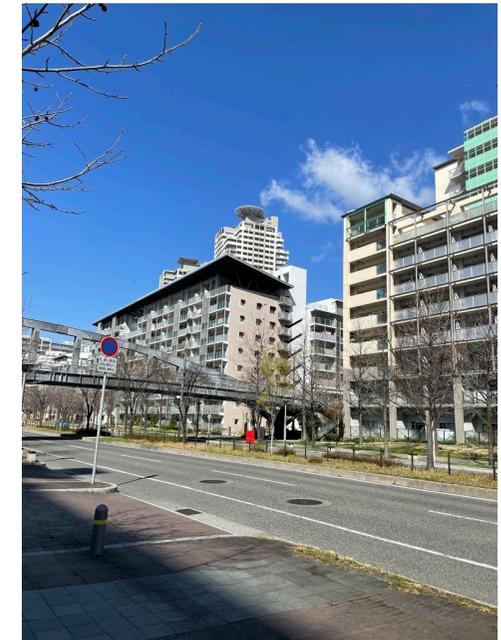
復興住宅



直後～1年

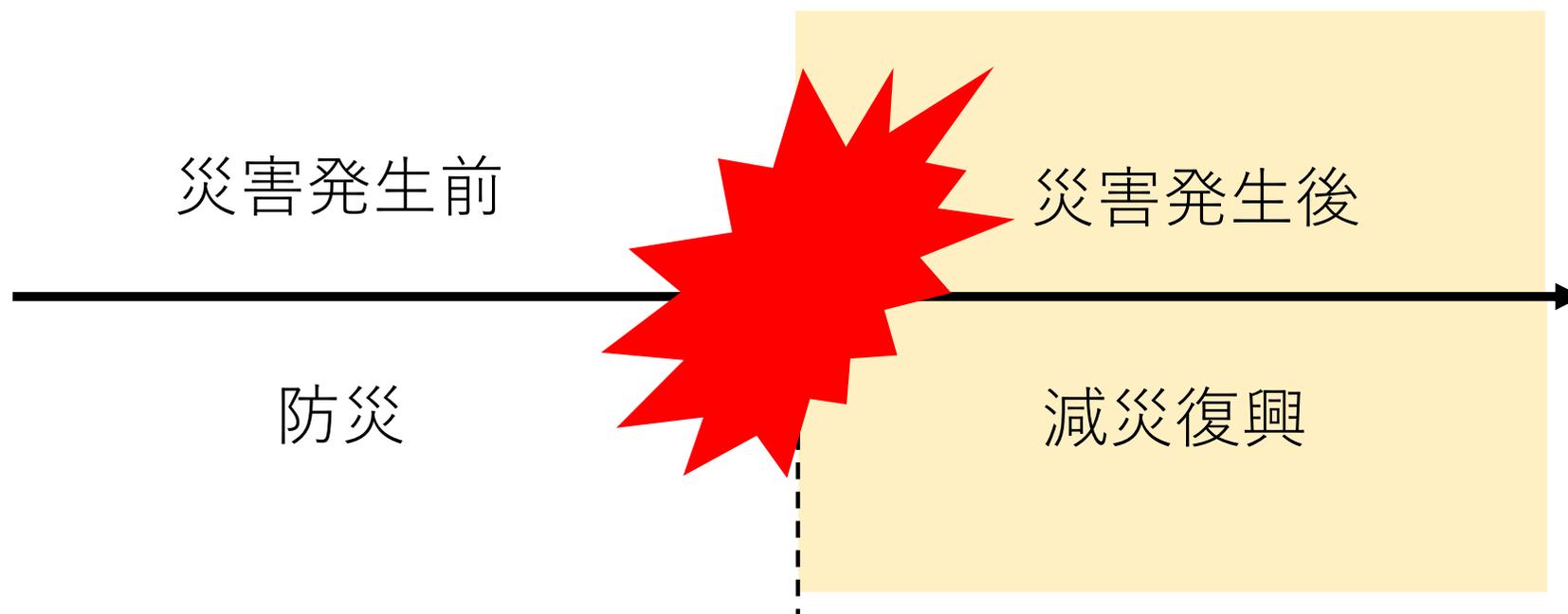


6ヶ月～5年



2年～

「災害発生後」への備えがなかった



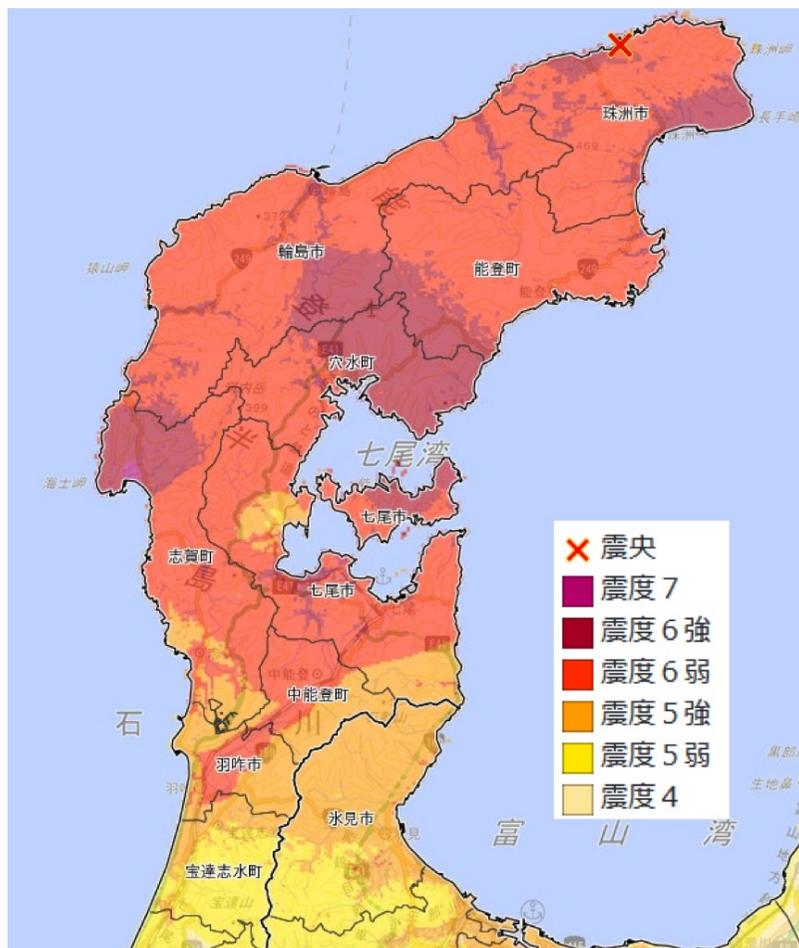
- 災害による被害を防ぐ（防災）
- 災害発生後の被害を防ぐ（減災復興）

災害支援のシステム化（専門業務）



- 緊急消防援助隊（消防）
- 広域緊急援助隊（警察）
- DMAT（医療）
- TEC-FORCE
- DWAT
- JMAT
- DHEAT
- 災害ボランティア
- 震災・学校支援チーム（EARTH）

令和6年能登半島地震(2024年)



(出所) 気象庁「令和6年能登半島地震の評価」より
https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2024/20240101_noto_1.pdf

地震による被害

- 2024年1月1日16時10分
- 震源：石川県能登地方
- マグニチュード7.6
- 震度7 志賀町 輪島市
- 震度6強 七尾市、珠洲市、穴水町
- 死者515名（うち災害関連死287名）
- 住宅被害81,242棟
(2024年5月21日時点)

被災者支援をめぐる課題

- 市民のほぼ全てが被災

(例) 珠洲市：人口12,929人

避難所数75 避難者数7,000人＋車中泊/在宅（1月4日）

*行政職員もほぼ全てが被災・避難生活

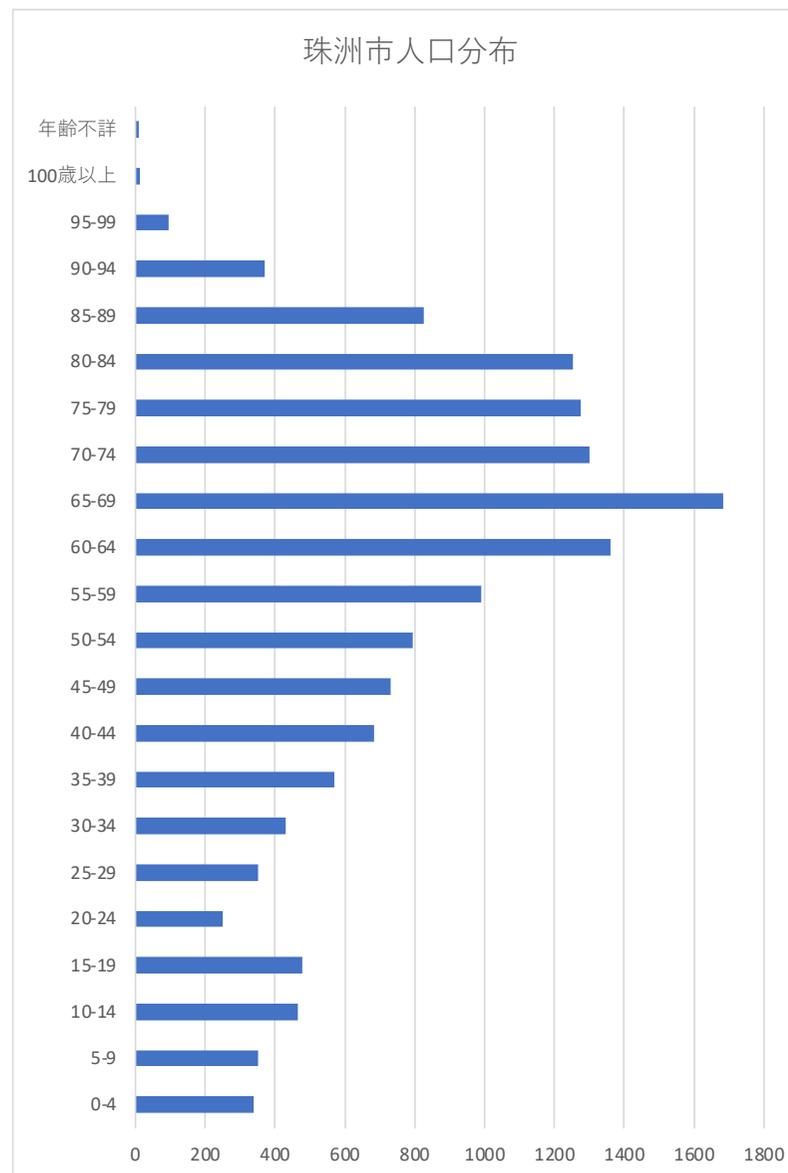
- 劣悪な避難生活

- 避難所混雑
- 断水＜水道復旧の目処がたたない＜仮設トイレ来ない
- 食事：届かない。地域が持ち寄り。まだ弁当はない

高齢化社会での災害対応

石川県
老年人口30.3%

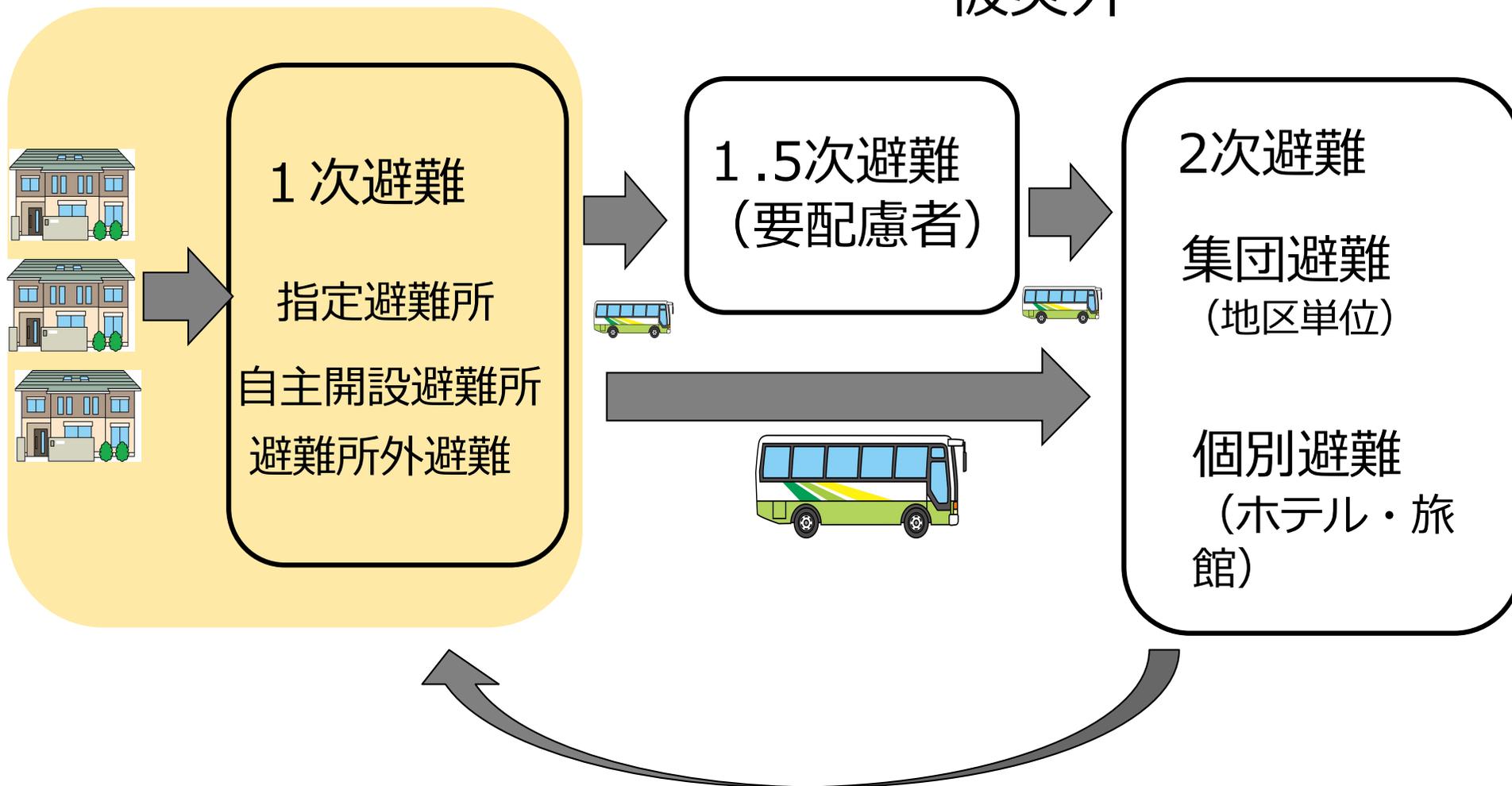
珠洲市52%
輪島市46.9%
穴水町50%
能登町51.1%



広域避難

被災地

被災外



2023年5月能登半島地震

5月5日 地震発生

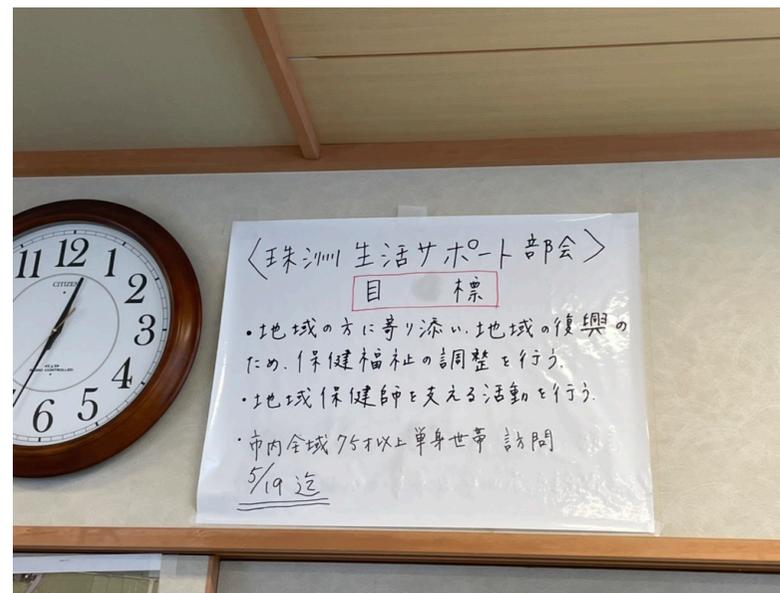
5月6日 生活サポート部会立ち上げ

5月8日 罹災証明受付開始 個別訪問開始

5月11日 災害ボランティアセンター開所



避難所 (正院小学校)



珠洲市在宅訪問者1222世帯
75歳以上

- ・要フォロー66件
- ・リスト外の訪問件数31件

災害時には
備えているもの/ことでしか
対応できない

トイレ対策は必須です

仮設トイレが届くのに数日かかります
凝固剤＋ゴミ袋＋ゴミ箱

*凝固剤は十分な数を準備しましょう



必要な衛生用品は性別/世代別で違う

- 乳児 紙おむつ
- 女性生理用品（昼用＋夜用）30個
- 男性・女性 尿もれ用パッド
- 男性・女性 紙パンツ、おむつ

*ウェットティッシュ・お尻ふきはほとんど
ど備蓄されていない

官民連携による被災者支援

被災者支援・防災人材育成エコシステム



※ 災害専門ボランティアは、地元地域での活動を基本としつつ、災害の規模や場所に応じ、近隣や遠方の市町村の避難所に赴き活動することもある。

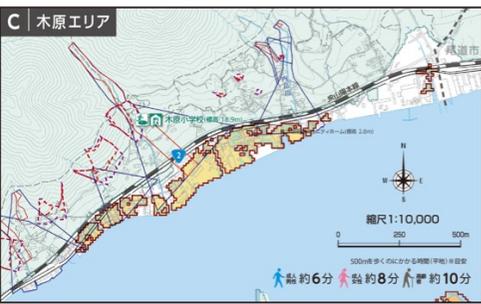
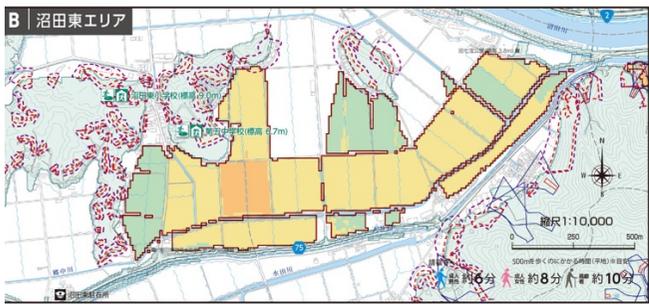
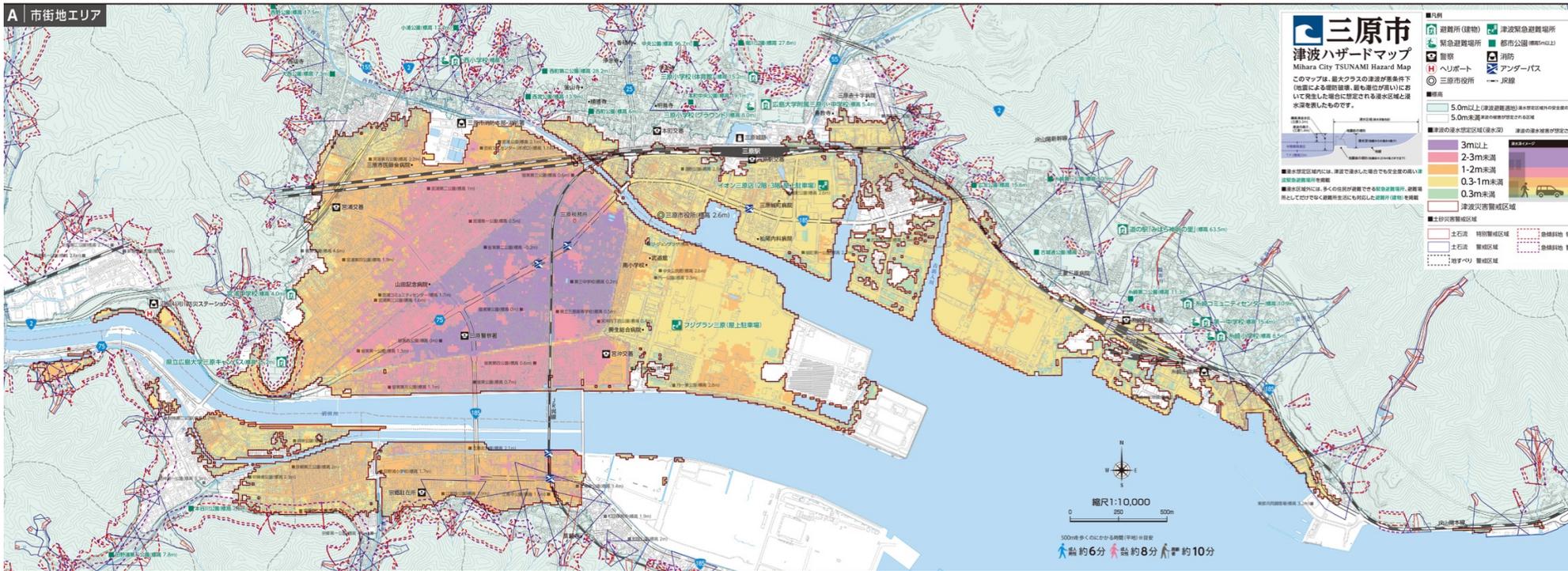
(出所)内閣府

http://www.bousai.go.jp/kaigirep/kentokai/eco_system_curriculum/index.html

南海トラフ地震が起きると・・・

南海トラフ地震（三原市）

- 震度6強
- 建物全壊 21,059棟（全壊5,242棟、半壊15,799棟、火災18棟）
- 死者数 1,044人（津波被害876人）
- 負傷者 2,588人（建物倒壊 2,284人、火災 1人、津波 273人）



地震が「いつ起きる」のかではなく
起きた時に「備えている」のかが大切

備えの確認のための情報
南海トラフ地震臨時情報

南海トラフ地震臨時情報

南海トラフ地震の想定震源域で
M6.8以上の地震・異常な現象が発生

南海トラフ地震臨時情報「調査中」

南海トラフ地震
臨時情報
調査終了

南海トラフ地震臨時情報
(巨大地震**注意**)

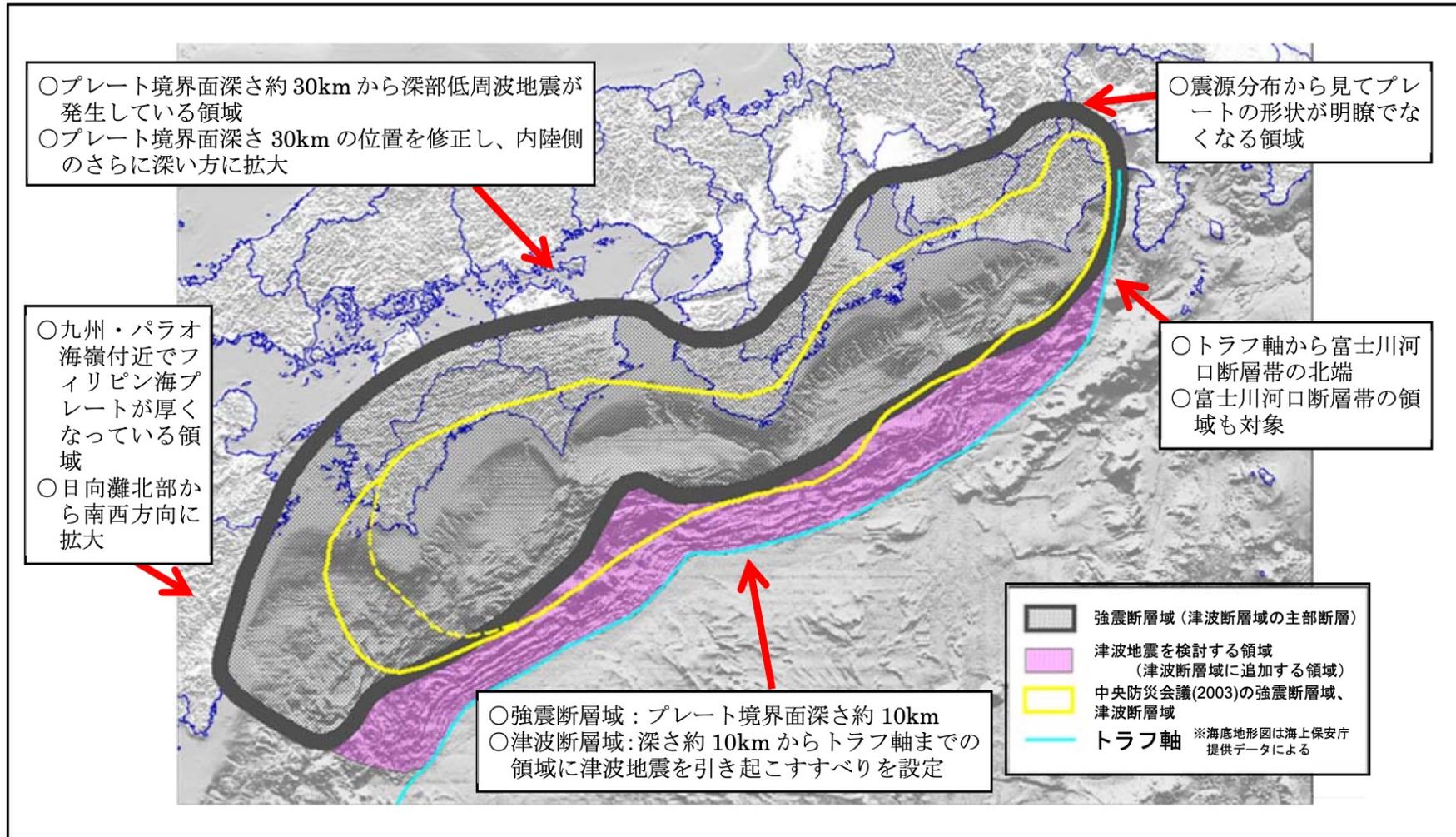
南海トラフ地震臨時情報
(巨大地震**警戒**)

事前の備えの確認

津波避難を急ぐところ
事前避難の準備

情報が出された時に
どのように対応する
か
考えておく

南海トラフ地震想定震源域



中央防災会議防災対策実効会議南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応検討ワーキンググループ
「南海トラフ沿いの異常な現象への防災対策のあり方について(報告)」2018年より

南海トラフ地震「異常な現象」

半割れ(一部領域でM8クラス、被害発生)ケース

※前回WG報告書におけるケース1

南海トラフ東側で大規模地震(M8クラス)が発生

西側は連動するの？

全世界で1900年以降にM8.0以上の地震(96事例)発生後、隣接領域で同規模の地震が発生した事例数

- 3日以内: 10事例
- 3年以内: 38事例

前震(M7クラス)ケース

※前回WG報告書におけるケース2

南海トラフで地震(M7クラス)が発生

南海トラフの大規模地震の前震か？

全世界で1900年以降にM7.0以上の地震(1368事例)発生後、同じ領域で、同規模以上の地震が発生した事例

- 7日以内: 24事例
- 3年以内: 56事例

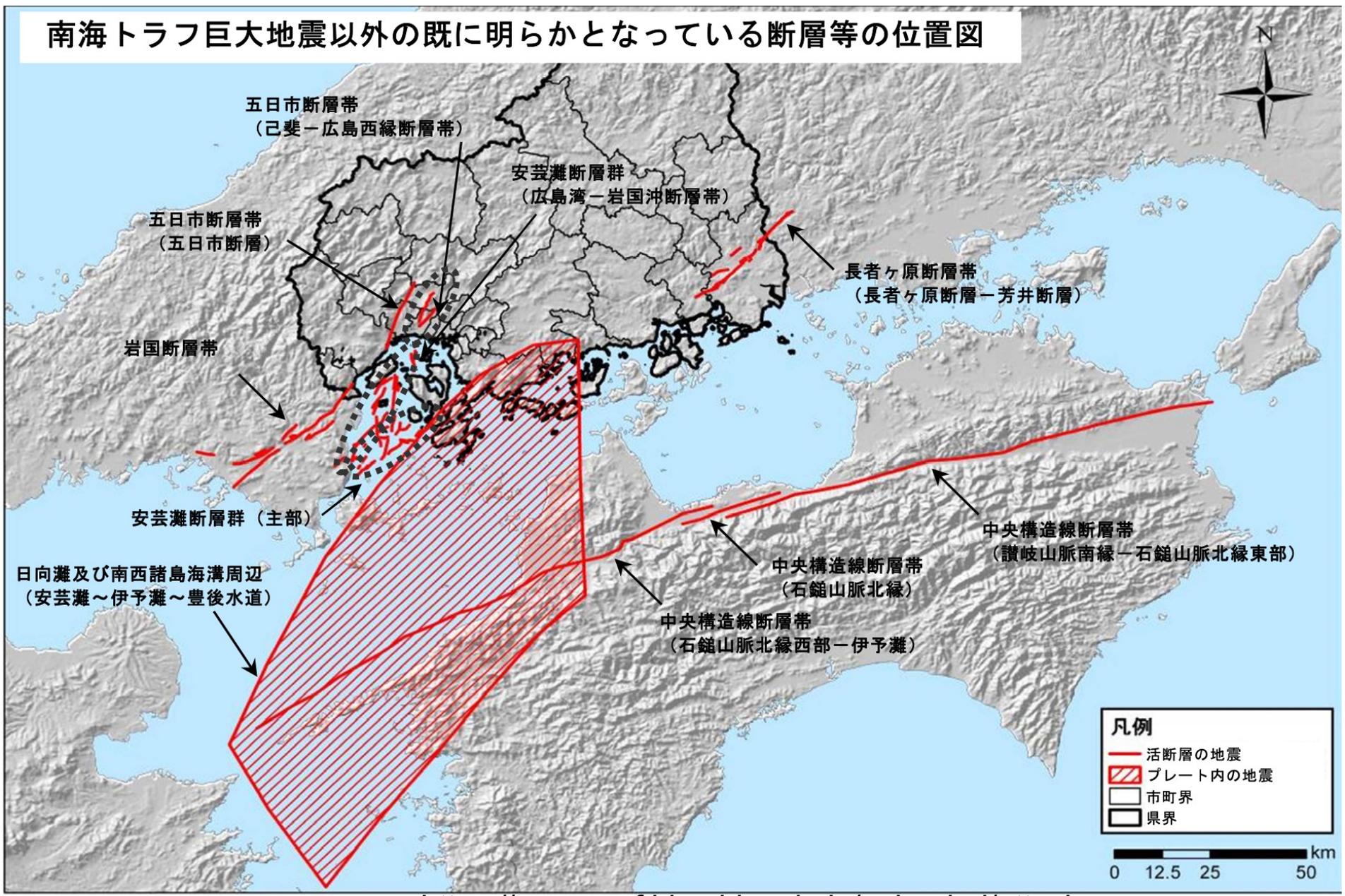
プレート境界面のすべり発生ケース

※前回WG報告書におけるケース4

シミュレーションでは、地震発生前にゆっくりすべりを伴う場合、伴わない場合等、大地震発生に至る多様性が示されている。

※南海トラフ地震の発生過程には多様性があり、実際には、ここで検討したケース以外の現象が発生する可能性がある。また、地震発生前に異常な現象が発生せず、突発的に南海トラフ地震が発生する場合も想定される。

南海トラフ巨大地震以外の既に明らかとなっている断層等の位置図

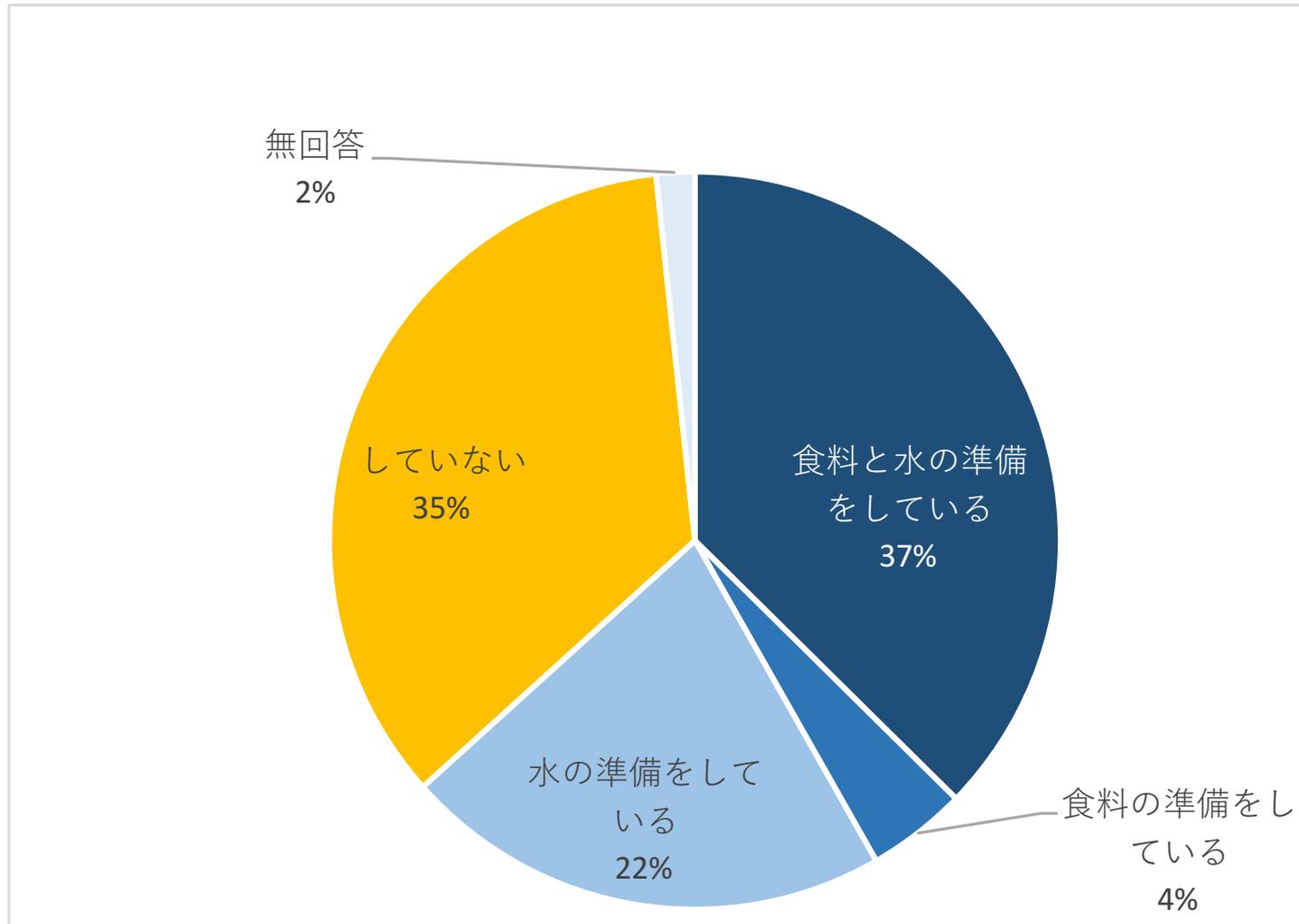


広島県

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/588189.pdf>

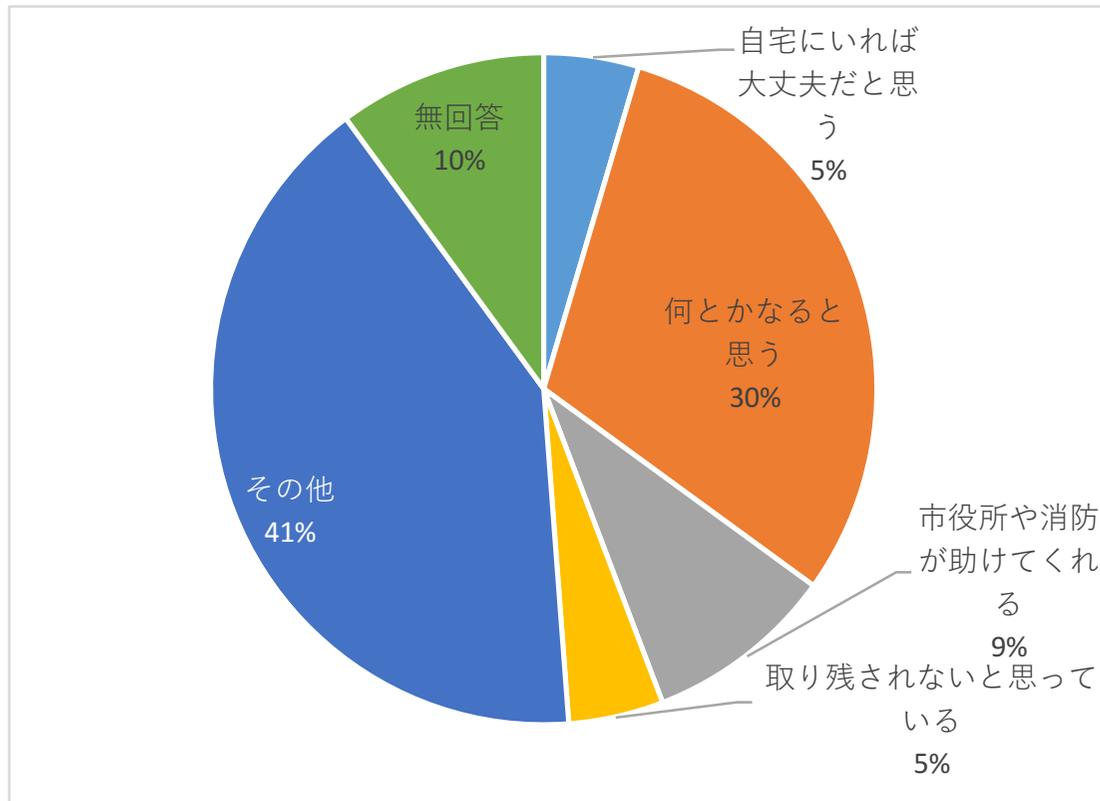
「もしも」に備えることは
難しい??

長期浸水被害の想定エリア内の人に住んでいる人への質問。 救助が来るまでの対策として、食料や水の準備をされていますか？



平成28年度高知市防災意識調査調査結果報告書より

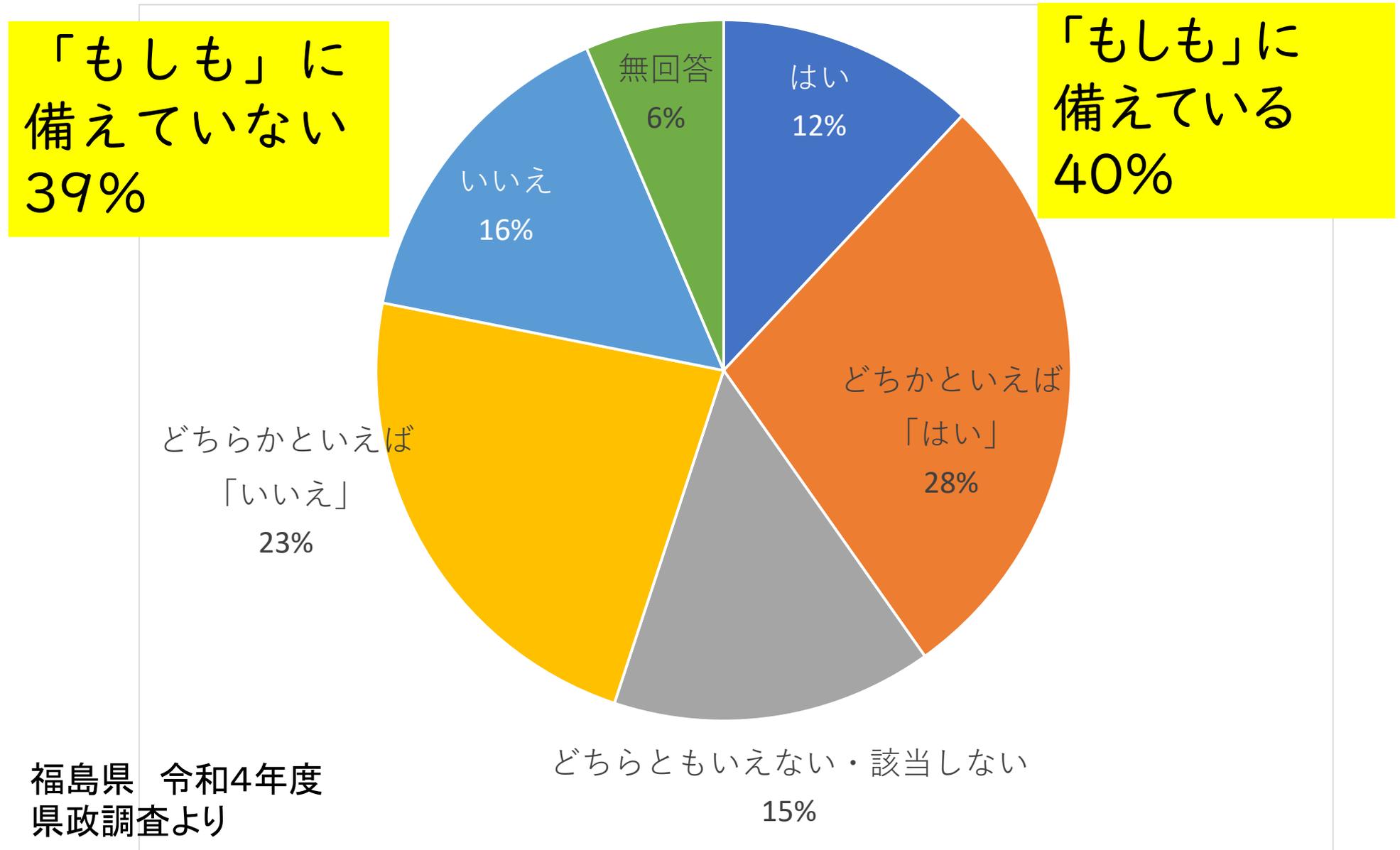
必要物資の備蓄をしていない理由を 教えてください



平成28年度高知市防災意識調査調査結果報告書より

- これから準備をする予定
- そのうちするつもり
- 準備をしなければとは思っている。
- しようと思っっているが後回しになっている。
- 持っていける体力がない。
- 子供がやってくれるはず。

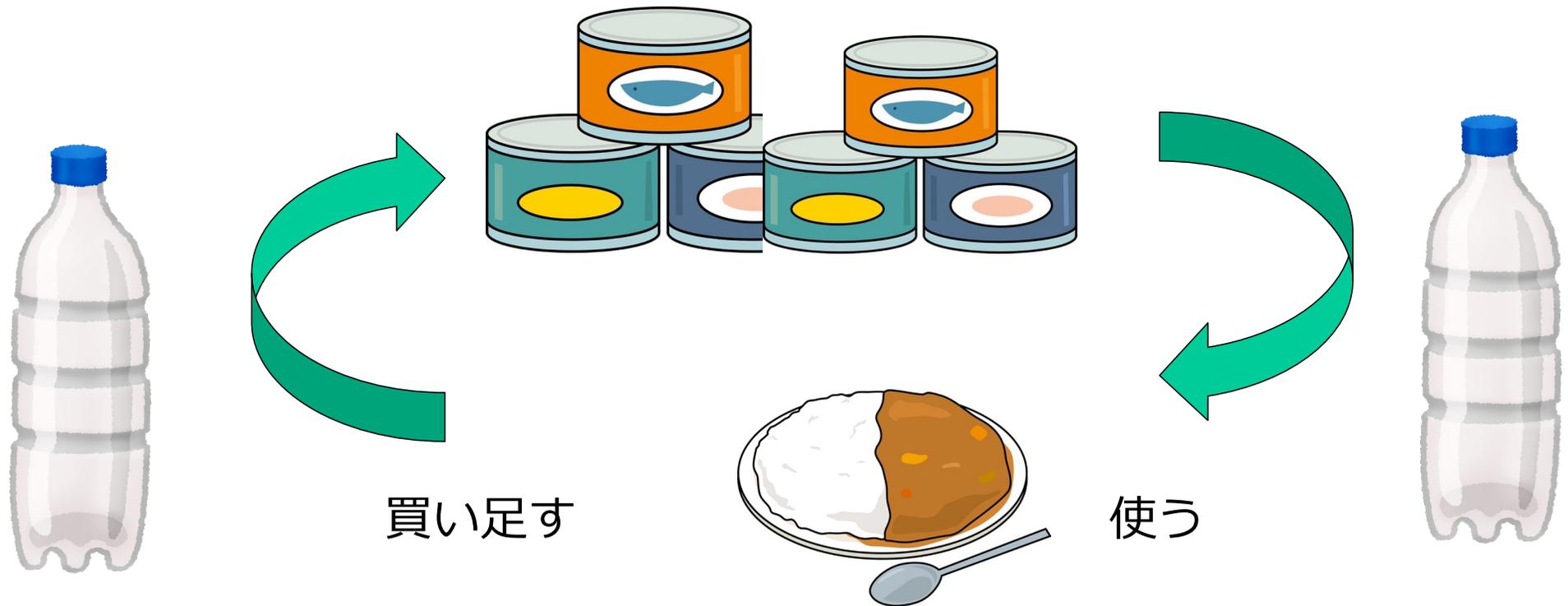
大規模災害時に備えて、避難場所の確認や食材の備蓄など行なっていますか？（福島県）



「いつも」を「もしも」につなげる
フェーズフリー

ローリングストック

普段から多めに食材・保存食を買うようにする



「いつも」 → 「もしも」

学校のフェーズフリー

令和2年度文部科学省委託「学校安全総合支援事業」

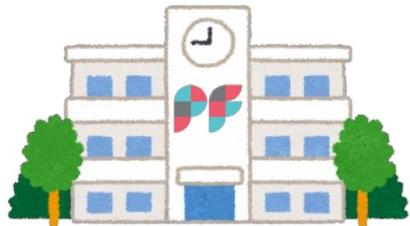
PHASE FREE

CONCEPT & GUIDEBOOK for School

いつもと

もしもがつながる

学校のフェーズフリー



鳴門市教育委員会

学校のフェーズフリー



係・清掃・給食・委員会活動等 <05>

- 係の仕事に責任を持ち、友達と協力しながら工夫して取り組み、周りの人の役に立とうとする。
- ルールを守り、礼儀正しく待ち、自ら進んで手伝おうとする。
- 規範意識や生活規律を身に付ける。
- 発災時等にも、生活規律を保って生活しようとする態度につながる。



朝の会等 <02、05> 「健康観察」「聞く力を養う」 ※全教科

- 呼名の際に、自分の体調をはっきりと正しく伝える。
- 朝会の話をカードにまとめる。
- 人の話や放送を静かに聞く。
- 生活・学習規律の基礎を養う。
- 発災時等に不調を伝えたり、大切な情報を得たりすることにつながる。

持ち物の整頓 <02、04>

※家庭「整理・整とんをしよう」等

- 自分の持ち物や荷物を所定の場所に整理整頓する。履き物をそろえる。等
- 地震発生時等に机の下に潜る、戸外へ避難するなどの避難行動がとりやすい。
- 物が散乱して避難の邪魔になることなどを防ぐことができる。

週目標 <01~05>

- 週目標にフェーズフリーの視点でのアドバイスや説明を加える。
- 週目標を守り、生活に役立てようとする意欲の向上を図る。
- 非常時の視点を日常生活に生かすことで、目標にしたことを行動に移すことの意味を理解し、必要感をもつことができる。

日常の感染予防 <05>

※体育（保健）等

- 正しい手洗いの方法やマスク着用の意義などの基本的な感染症予防の方法を知り、主体的に実践することで、感染症や病気から自分の身を守ろうとする意欲をもつ。
- 避難所等での生活の際にも、感染予防をしようとする意識をもつことにつながる。



< > フェーズフリー活用のタイミング（P4参照） ○学習や活動の目標や主な内容等 ■フェーズフリーの視点から考える手だて ※関連する他教科の内容等

こども食堂防災拠点化 (うわじまグランマ)

西日本豪雨災害



こども食堂



地域の食の拠点



南海トラフ地震
食のネットワーク



2021年熱海豪雨災害

介護タクシー＞要援護者の避難支援

- 熱海市伊豆山で介護タクシー・訪問介護事業を営む「伊豆おはな」の河合さん夫婦
- 市の防災メールで異変に気づく
- 消防団とともに、自力で逃げられない高齢者宅を周り6人を高台に誘導
- 市内のクリニックから経口補水液を避難所に運ぶ
- 高齢者を避難所＞ホテル（二次避難への移動支援）

中日新聞 2021年8月11日

「助けたい一心、熱海を駆ける介護タクシー営む夫婦が支援」

高齢者・障害者を サポートできる人を増やす

災害時にみんなで助かるために 

ひなんサポーターになろう！

(明石市ひなんサポーター研修)

ひなんサポーターとは？
災害が発生し自分・家族の安全が確保できたとき、可能な範囲で、近隣の高齢者・障害者に声をかけて一緒に避難したり、避難所での手伝い等に協力してくれる人を明石市では「ひなんサポーター」と呼んでいます。

日時
2024年
1/27 (土)
13:30~16:00
受付は 13:00~



**定員100名
参加無料**

自治会・町内会やまち協
で防災を担当しています

防災について
勉強してみよう 

学生が出来ることって
何だろう？ 

場所
ウィズあかし 704 学習室
(明石市東仲ノ町 6-1 アスピア明石北館 7F)

中学生以上の方どなたでも参加可
参加者にはサポーター
グッズを配布！ 

内容

- ① 明石市で想定される災害 知っていますか？
- ② 災害で支援が必要な人ってどんな人？
- ③ 障害体験をして考えよう！災害支援のポイント など 

